




平成20年3月21日

各 位

会社名 株式会社 阿波銀行
代表者 取締役頭取 古川 武弘
(コード番号 8388:東証第一部、大証第一部)
問合せ先 取締役総合企画部長 平岡 悟
電話番号 (088) 623-3131

新経営計画 「全行改革運動JUMP UP」について

阿波銀行（頭取 古川 武弘）では、今後3年間（平成20年4月1日～平成23年3月31日）に取組む新経営計画「全行改革運動 JUMP UP」を策定いたしましたので、概要を次のとおりお知らせいたします。

新経営計画 

全行改革運動 JUMP UP

平成20年4月 ～ 平成23年3月

「永代取引」の追求による「地域密着総合金融サービス業」の進化
～ みなさまの「**こころ**」のメインバンクへ ～

- お客さまへ 当行とお取引いただいていることに感謝し、お客さま第一の信念を持って行動いたします。
- 株主のみなさまへ 日頃のご支援にお応えするため、継続的な業績向上により株主価値の向上を図ってまいります。
- 地域社会のみなさまへ 創業の精神である「地域への貢献なくして当行の発展はない」という理念を守り続けます。
- 従業員のみなさまへ 当行役職員が大切にしている「**恕(じょ)**」の心を持ち続け、チャレンジする企業風土を構築します。

※当行の全本支店には「恕」の書を掲示しております。「恕」とは思いやりの心に加え相手のニーズをくみとり積極的にお客さま満足度を向上する心です。

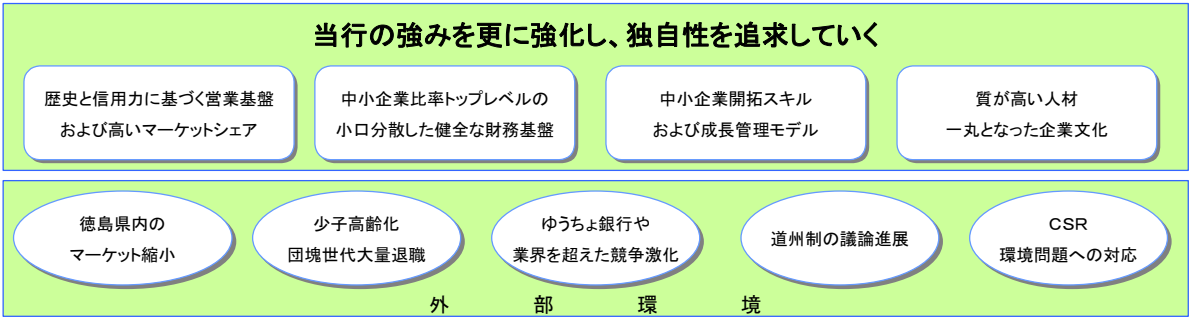
平成20年3月

- 当行の伝統的な営業方針である「永代取引」をさらに推し進め、永年にわたりご支援をいただいている、お客さま・株主のみならず・地域社会のみならずとも発展するという理念を実践してまいります。
- 地域経済の中心であり永代取引が可能な中小企業等を積極的にサポートし、地域やお客さまに密着した経営をすすめ、確固たる基盤を確立していく地域リテールバンクをめざします。
- 当行の強みである中小企業融資に加え、新たな収益モデル構築のためにスモールビジネスや投資運用業務についても、経営資源を配賦し態勢整備を進めてまいります。

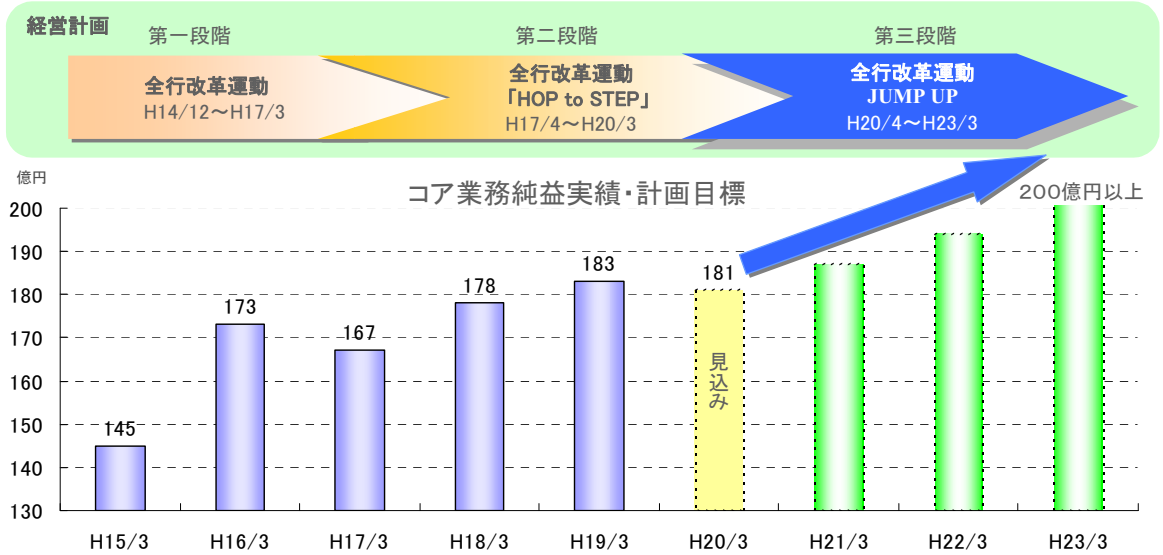
「永代取引」

目先の短期的な利益を求めめるのではなく、世代を超えた息の長い取引を継続し、永続的な発展に寄与していくという考え方

地域リテールバンク 中小企業取引を更に強化

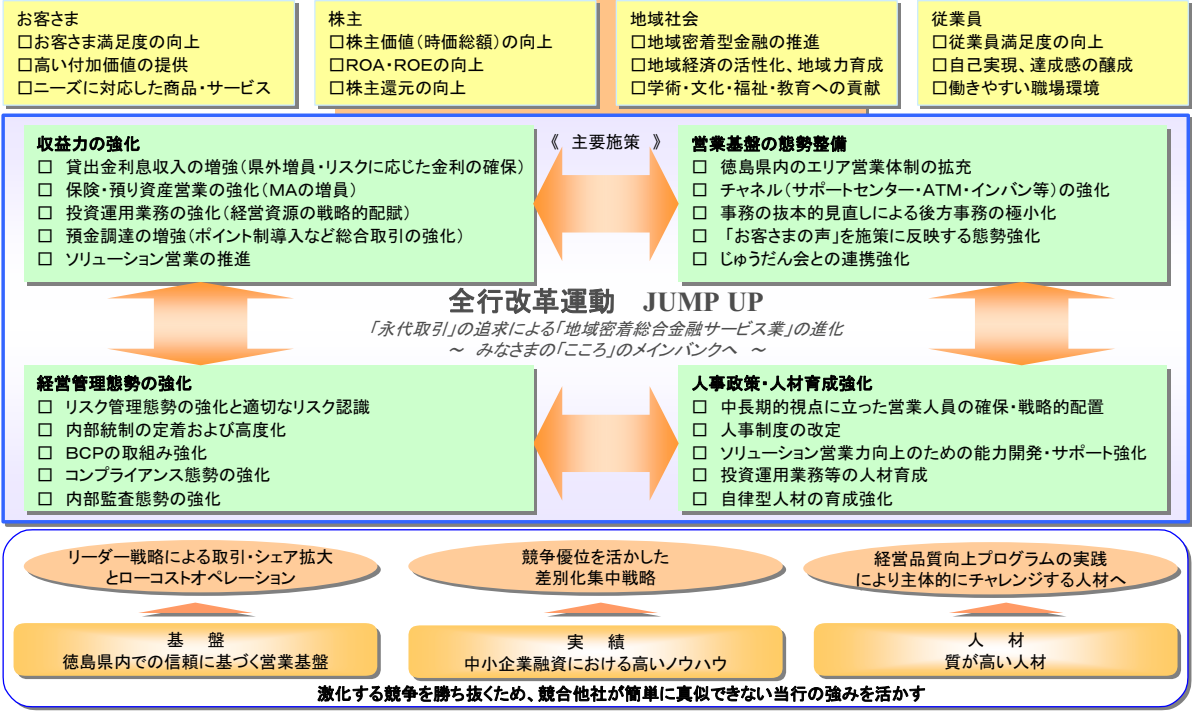


- 平成14年12月にスタートした全行改革運動は、当行が地域やお客さまと共に発展するという理念を実現するために必要不可欠な運動です。
- お客さまへ高い付加価値を提供し、真に「強くて良い銀行」へとなるためには更なる構造改革を進め、全行改革運動を「HOP to STEP」から「JUMP」へと前進・継続する必要があります。
- 今回の経営計画の位置付けは、全行改革運動の精神を引き継ぎ、お客さま本位の経営をさらに強化し、お客さまから支持される「強くて良い銀行」となる改革を継続してまいります。
- さらに、地域密着総合金融サービス業を進化させることで永代取引に繋がるビジネスモデルを確立し、安定的にコア業務純益200億円を計上できる高い収益力がある銀行へと向上「UP」する計画とします。



安定的にコア業務純益200億円を計上する収益体質へ

全てのステークホルダーと「こころ」でつながる銀行へ



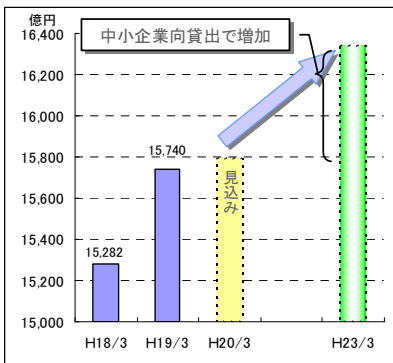
全行改革運動 JUMP UP 計数目標

項目	平成18年度実績	平成19年度見込	平成22年度目標
コア業務純益	183億円	181億円	200億円以上
当期利益ROE	5.60%	4.9%程度	6.0%以上
修正OHR	60.84%	61.4%程度	60%以下
EPS(一株当たり利益)	37.7円	34.1円程度	40.0円以上
自己資本比率(連結)	11.79%	11.8%程度	12%以上
中小企業等貸出比率	88.95%	-	85%以上維持

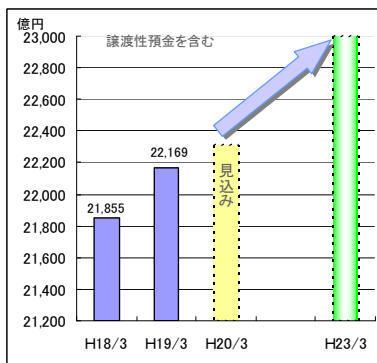
※計数目標の前提条件:国内外の金利水準、為替相場、株式相場については変化しないと仮定する。(H20年2月現在)

※平成19年度見込は平成19年11月16日付中間決算短信業績予想。

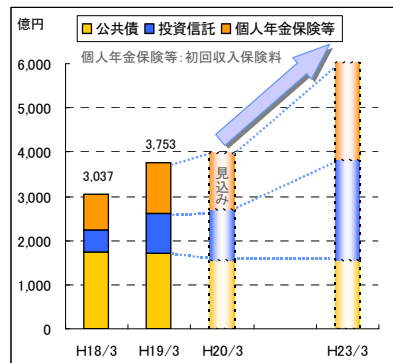
貸出金の目標(平均残高ベース)



預金の目標(平均残高ベース)



預かり資産の目標(残高ベース)



全行改革運動完遂に向けた基本戦略

- I. 経営品質向上プログラムの展開によるお客さま満足度の向上
- II. 「永代取引」を追求した地域密着型金融の推進
- III. 営業力強化のための効率化推進と一貫した業務プロセスの構築
- IV. 高い付加価値(満足度)を提供できる人材の育成
- V. 経営管理態勢の強化と適切なリスク管理による収益の極大化

企業価値の向上

株主価値(時価総額)の向上

- ◆ 継続的な業績の向上
- ◆ ROA・ROEの改善
- ◆ 株主還元への向上

社会に対する「見える化」

- ◆ 積極的なディスクロージャー
- ◆ 広報・広告活動の強化
- ◆ IR活動の強化

CSRへの取組強化

- ◆ 本業を通じたCSR
- ◆ 社会貢献活動の充実
- ◆ 環境問題への対応強化

あわぎんブランドの構築

地域密着型金融推進計画

- 従来からの強みである「中小企業融資」をより強化し、伝統的な営業手法である「永代取引」の推進を行っていくことが「地域密着型金融」を推進していくことと同義であると考え、より中小企業融資に特化した態勢を整備し、経営資源の重点的な配分を行ってまいります。
- 経営方針の一つである「人材の育成」に注力し「目利き能力」を高め、お客さまの問題解決のパートナーとなるべく人材教育を強化していきます。
- 高度化・多様化するお客さまニーズにお応えするため、地方公共団体をはじめとする他団体との連携を図り、当行に集積する地域の情報を活用し、経営方針の一つである「地域への貢献」を継続的に実践してまいります。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援を更に強化する

- ・ 創業・新事業支援態勢の強化推進
- ・ 経営改善支援の取組み強化
- ・ 事業再生支援の取組み強化
- ・ 事業承継支援の推進

事業価値を見極める融資手法を始め、中小企業に適した資金供給方法の徹底を図る

- ・ 中小企業等金融への積極的取組みの強化
- ・ 担保・保証に過度に依存しない融資の推進
- ・ 人材の育成

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ・ LEDとくしま活性化構想(LEDバレイ構想)への参画
- ・ 財団法人阿波銀行学術・文化振興財団を通じた助成活動
- ・ 徳島ニュービジネス協議会との連携による創業支援や企業誘致の積極的推進
- ・ 金融教室の開催

地域に必要とされ、頼りがいのある銀行